

『国立大学等施設緊急整備5か年計画』の一層の推進

H13.4 第2期科学技術基本計画を受け策定

○ 重点的整備 ～緊急的に必要な整備約600万㎡（所要額約1兆6千億円）

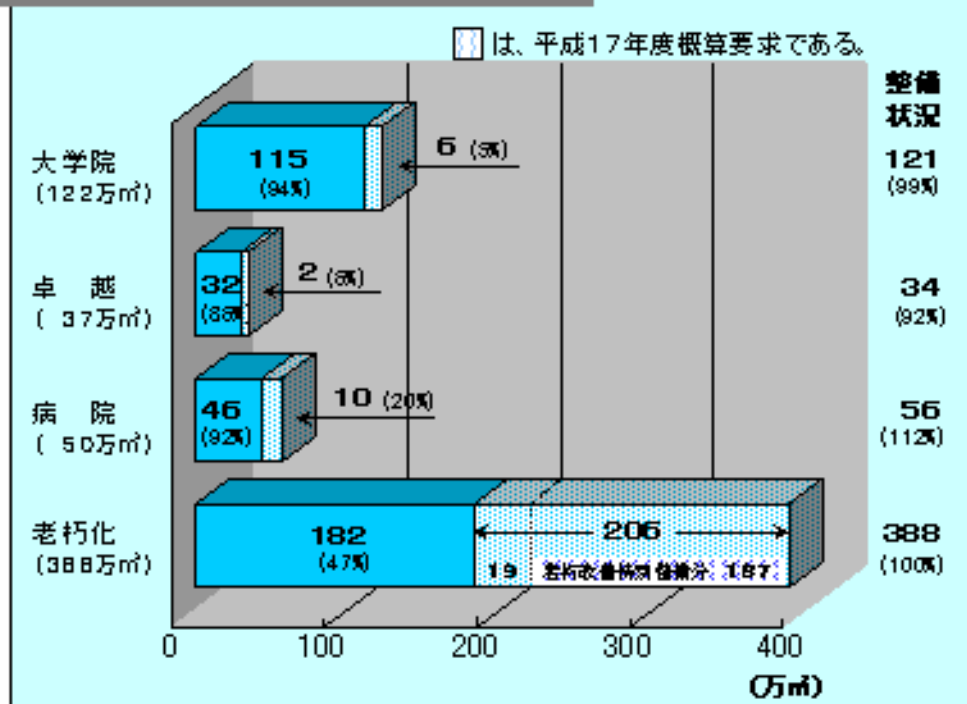
◇ 4つの重点テーマ

大学院施設の狭隘解消等 (約120万㎡)	先端医療に対応した大学附属病院 (約50万㎡)
卓越した研究拠点等 (約40万㎡)	老朽化した施設の改善 (約390万㎡)

○ システム改革 ～大学改革と一体となった施設の効率的・弾力的利用などに取り組む

- ・ 全学的な視点に立った施設管理運営システムの構築
- ・ 各学部等が共有する総合的・複合的な研究棟を整備
- ・ PFI等新たな整備手法の導入

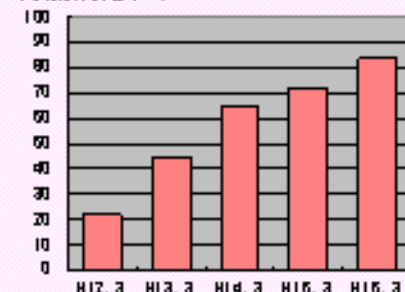
重点的、計画的な施設整備の実施



システム改革の推進

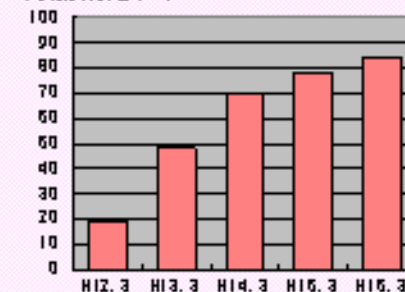
1. 施設の点検・評価に関する委員会の設置
52% (平成12年) → 100% (平成15年に達成)
2. 全学的な視点に立った施設管理運営システムの構築
施設の点検・評価の結果及び教育研究活動等の状況に応じ、使用面積の再配分を行っている学校数の割合 22% (平成12年) → 84% (平成15年)
3. 各学部等が共有する総合的・複合的な研究棟を整備
弾力的・流動的に利用できる共同利用スペースを確保した学校数の割合 20% (平成12年) → 85% (平成15年)
4. PFI等新たな整備手法の導入
平成15年度PFI実施件数 14件 (国のPFIの約5割)
平成16年度予定件数 10件

学校数の割合(%)



使用面積の再配分

学校数の割合(%)



共同利用スペースの確保